

# JIA

株式会社 ジャパンインベストメントアドバイザー

< 証券コード: 7172 >

## 2016年12月期第3四半期連結決算説明資料 (2016年1月～9月)

2016年11月4日



東京都千代田区霞が関三丁目2 - 1  
霞が関コモンゲート西館20階  
<http://www.jia-ltd.com>

経営理念	P4
会社概要	P5
沿革	P6
事業内容	P7～10
2016年12月期 第3四半期 業績ハイライト	P12
2016年12月期 第3四半期 主な事業の状況	P13
2016年12月期 第3四半期 レビュー	P14
上場効果-知名度並びに信用力の向上	P15
販売ネットワーク(ビジネスマッチング契約先)の拡大	P16
新株式の発行及び株式売出しの実施概要	P17
2016年12月期 第3四半期決算報告	P18～21
201612月期 通期業績予想	P22～24
株主還元	P25～27
当社の成長戦略	P28～31
参考情報	P32～35

# ■ 会社概要

---

## 金融を通じ社会に貢献する企業でありつづける

### 経営の基本方針

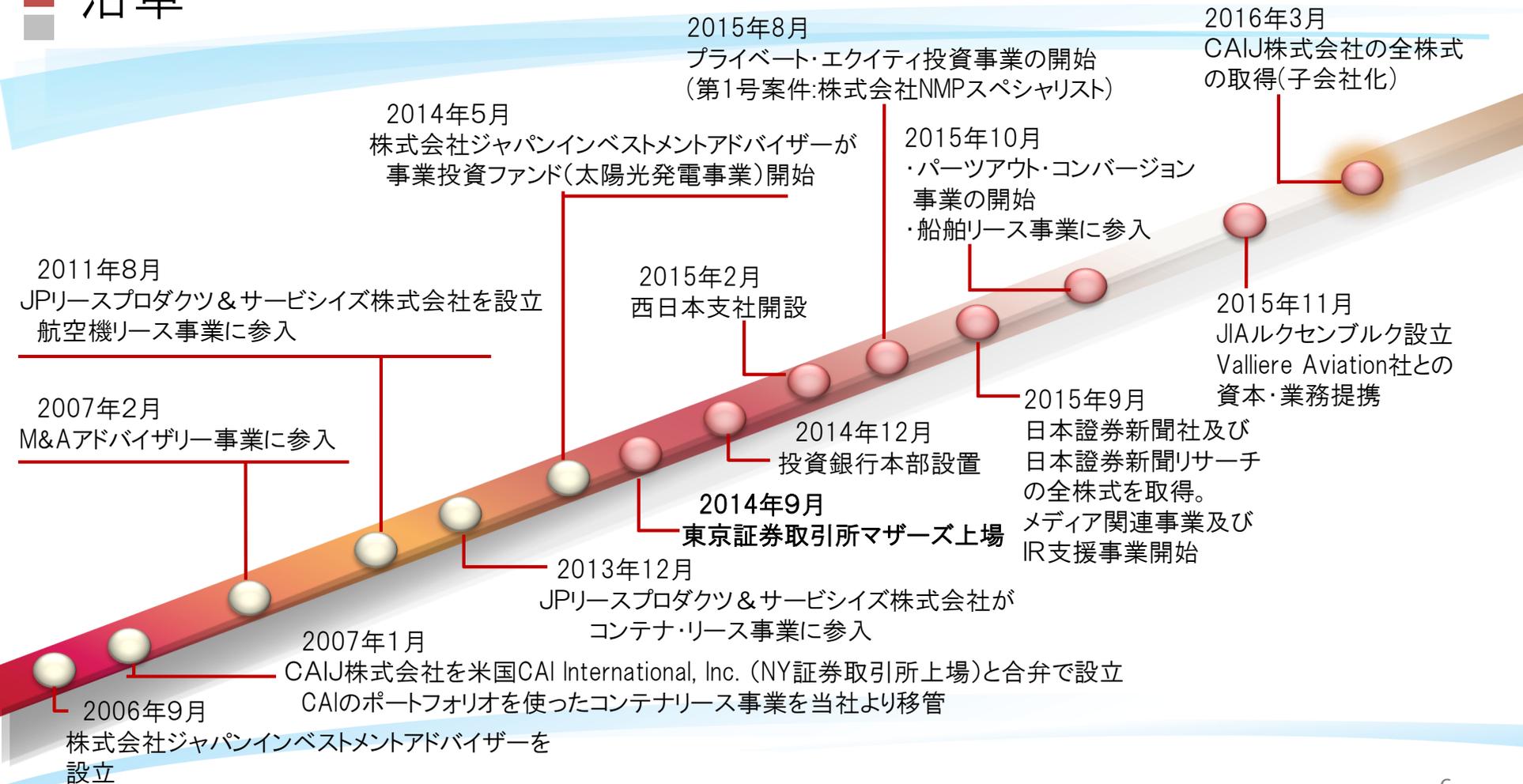
～経営理念実現のために～

- 私たちは、确实且つスピード感のある継続的な成長を目指し、企業価値の増大を通じ、株主様に貢献します。
- 私たちは、お客様からの支持・信頼を行動の原点とし、当社の提供する金融商品・サービスを通じて、企業、個人の繁栄に貢献するよう努めます。
- 私たちは、ビジネスパートナーの支持・信頼を得て、ともに社会的責任を果たし、成長することを目指します。
- 私たちは、役職員一人ひとりがプロ意識を持ち、持てる力をフルに発揮出来る環境作りに取り組みます。自由闊達、クリエイティブで新しいことにチャレンジすることを重視する組織・企業風土を大切にします。

社名	株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー
本社所在地	東京都千代田区霞が関三丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 20階
代表者	代表取締役社長 白岩 直人
設立	2006年9月(決算期:12月)
事業内容	金融ソリューション事業
資本金	2,051百万円
上場市場	東京証券取引所 マザーズ市場(証券コード:7172)
常勤役員数	36名(単体)、60名(連結)
営業拠点	東京本社、西日本支社(大阪)
取引金融機関	みずほ銀行、りそな銀行、三井住友銀行、千葉銀行、第四銀行 他29行
主要株主	白岩直人 (株)こうどうホールディングス 日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口) 双日(株) 日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口) Government of Norway(ノルウェイ政府年金基金) ※平成28年6月末現在の上位6位(シェア75.2%)を記載
主な連結子会社	JPIリースプロダクツ&サービスイズ株式会社(オペレーティング・リース事業) 株式会社日本証券新聞社、株式会社日本証券新聞リサーチ(メディア関連・IR支援事業) CAIJ株式会社(コンテナ・オペレーティング・リース事業)
監査法人	優成監査法人



## 沿革



## 事業内容

### 既存事業領域

オペレーティング・  
リース事業



パーツアウト・  
コンバージョン事業



メディア関連・IR支援事業



IPOコンサルティング事業



人材ビジネス

**全国の会計事務所  
(提携数:99事務所)**



環境エネルギー事業



**金融ソリューション事業**

**金融機関(地銀等・証券会社)  
(提携数:42機関)**



ITビジネス



ウェルス・マネジメント事業



不動産投資事業



プライベート・エクイティ投資事業



M&Aアドバイザー事業

### 新規事業領域

## 事業内容

事業セグメント	事業部門	売上高 (平成27年12月期 実績)	売上高 (平成28年12月期 第3四半期累計実績)	
金融ソリューション事業	オペレーティング・リース事業	1,775百万円	1,196百万円	
	環境エネルギー事業	298百万円	289百万円	
	パーツアウト・コンバージョン事業	578百万円	1,304百万円	
	その他事業	M&Aアドバイザー事業	39百万円	31百万円
		プライベート・エクイティ投資事業		
		ウェルス・マネジメント事業		
人材ビジネス				
	不動産投資事業(※)			
メディア事業	メディア関連・IR支援事業	114百万円	260百万円	
		<b>合計 28.05億円</b>	<b>合計 30.8億円</b>	

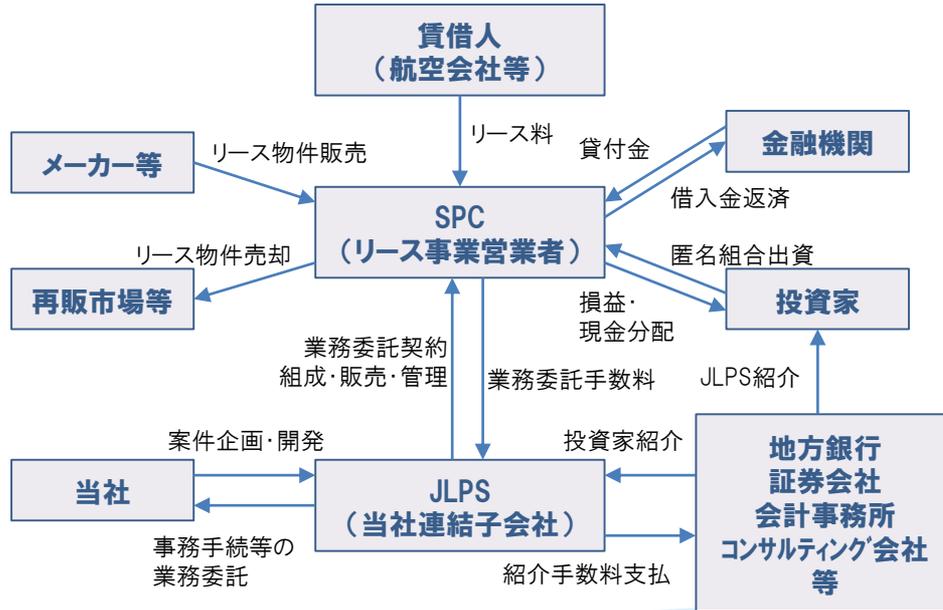
(※) 不動産投資事業につきましては現時点では運営しておりませんが、不動産関連事業を行うため、2014年12月期において宅地建物取引業法に基づき、敷金保証金10,000千円を法務局に供託しており、今後の事業展開を予定しております。

## 主な事業の概要①

### オペレーティング・リース事業

- 当社及び当社の連結子会社であるJPリースプロダクツ&サービスズ(以下「JLPS」という。)及びCAIJが、主に航空機、船舶、海上輸送用コンテナを対象とするオペレーティング・リース事業を組成し、当該リース事業開始時の匿名組合出資金(匿名組合契約に基づく権利)を投資家に販売しております。

### 事業系統図



### 業務の流れ

案件受注 (組成)	関係各社と交渉の結果、航空会社等の賃借人からリース事業を受注することで、業務を開始します。
案件組成 (組成)	賃借人が要求するリース条件、金融機関からの借入条件、投資家への販売予定額等の諸条件を総合的に勘案し、当社子会社(SPC)において、オペレーティング・リース事業を組成します。
私募の取扱 (販売)	リース開始日以前は、投資家に対して当社子会社(SPC)の匿名組合契約に基づく権利の取得勧誘を行います。
リース開始 (組成)	リース契約に基づき、当社子会社(SPC)において、オペレーティング・リース事業が開始されます。
地位譲渡 (販売)	リース開始日以後、当社子会社(SPC)に匿名組合契約に基づく権利の未販売分がある場合には、投資家に対して、JLPSが取得した当該権利の地位譲渡を行います。
案件管理 (管理)	オペレーティング・リース事業の運営に係る匿名組合契約に基づく報告、当該子会社(SPC)の会社運営上必要とされる記帳、税務申告等の一切の管理業務を行います。
リース満了 (出口)	リース期間満了後、リース物件の売却、借入金の返済等を行い、残余財産を投資家に分配します。

## 主な事業の概要②

### 環境エネルギー事業

- 当社の非連結子会社であるSPCを事業者として設立し、環境エネルギー事業の一環として、太陽光発電事業を行っております。
- 当社が工事等請負契約を締結し建設工事費用を立て替え、完工間近にSPCへ資産を譲渡いたします。同時にJLPSが当該SPCの匿名組合出資持分につき、私募形式で投資家を募集致します。



下関豊田八道太陽光発電所  
(当社組成のファンド対象物件)



### パーツアウト・コンバージョン事業

- パーツアウト・コンバージョン事業は、パーツアウト事業及びコンバージョン事業から構成され、リース期間終了時の航空機を有効活用することで、その残存価値を高めるものであります。

#### パーツアウト事業

退役航空機の機体を解体し、その各部品を在庫管理し、世界中のユーザー(整備会社、リース会社、航空会社等)へ販売する事業

#### コンバージョン事業

機齢の経った旅客機を輸送機等に改造しリサイクルする事業

- これまでの航空機を対象としたオペレーティング・リース事業の組成・販売を通じて培ったノウハウ、ネットワーク等を活用し、航空機のライフサイクルトータルマネジメントを行うことで、当該事業に係るリスクの軽減を図る方針であります。

2016年12月期第3四半期

# 業績ハイライト

---

# 2016年12月期第3四半期 業績ハイライト



## 1 旺盛な投資家需要を背景に商品組成に注力し組成金額は686億円へ。当期の販売計画は第4四半期に集中。

2014年9月の東証上場により信用力が向上し、また本年4月に実施した増資により資金調達力が格段に向上いたしました。当第3四半期(累計)においては、当社の主な顧客(投資家)である中堅・中小企業の収益改善、法人実効税率の更なる引き下げ実施期待等から、全国の顧客(投資家)からの投資意欲は依然として旺盛であることを背景に、27件の案件を組成し、14件の案件を販売いたしました。その結果、オペレーティング・リース事業の出資金販売額は100億円、環境エネルギー事業は29億8千万円、パーツアウト・コンバージョン事業の売上高13億4百万円及びその他事業を含めた売上高は30億8千万円(前年同期比68.7%増)と伸張いたしました。なお、オペレーティング・リース事業及び環境エネルギー事業の出資金販売計画は、第4四半期に10件程度(出資金総額:123億円程度)を予定しております。

## 2 組成・販売実績

### 航空機



#### 第3四半期までの実績

組成実績：16件  
組成金額：55,561百万円  
販売実績(完売)：4件  
販売金額：5,086百万円

#### 第4四半期の販売計画

当第3半期末における商品在庫は12件(出資金総額:約14,427百万円)あり、この内、7件(出資金総額:10,720百万円)の完売を予定しております。

### 船舶



#### 第3四半期までの実績

組成実績：3件  
組成金額：8,192百万円  
販売実績(完売)：2件  
販売金額：1,729百万円

※当第3四半期末における船舶案件の商品在庫は1件(1,026百万円の募集総額)の組成を完了しております。

### コンテナ



#### 第3四半期までの実績

組成実績：2件  
組成金額：1,441百万円  
販売実績(完売)：3件  
販売金額：3,185百万円

※今後も、新しいレシーを招聘することにより積極的に組成を行ってまいります。

### 太陽光発電



#### 第3四半期までの実績

組成実績：5件  
組成金額：3,430百万円  
販売実績(完売)：5件  
販売金額：2,980百万円

#### 第4四半期の販売計画

3件(出資金総額:約1,568百万円)の完売を予定しております。為替リスクのない太陽光ファンドは投資家のニーズが非常に高く、販売開始後、短期間で完売しております。

## 2016年12月期第3四半期 主な事業の状況

### オペレーティング・リース事業 組成金額



### 環境エネルギー事業 組成金額



### 物件別出資金販売額



\* 数値については、当上半期累計。また、案件数に関してはSPCの数をカウントしています。

# 2016年12月期第3四半期 レビュー

## 主なトピックス

1月	IPOコンサルティング事業の開始について
2月	個人投資家向け説明会の開催（日本証券新聞リサーチ社主催、2月29日、東京証券会館にて。 参加者数282名）
3月	個人投資家向け説明会の開催（日本証券新聞リサーチ社主催、3月18日、大阪朝日生命ホールにて。 参加者数423名） CAIJ株式会社の全株式の取得（子会社化）
4月	新株式の発行及び株式売出しの実施（→P17「新株式の発行及び株式売出しの実施概要」参照）
8月	PCIホールディングス株式会社との「Fintech領域における業務提携」 募集新株予約権（有償ストックオプション）の発行（新株予約権の数:3,670個）
9月	個人投資家向け説明会の開催（大和証券主催、9月7日、大和証券柏支店にて、参加者数:20名） Vallair Capital SAS社への追加出資（2.5百万ユーロ:1ユーロ112.84円換算で約282.1百万円） 同社への出資比率は20%となる。

# 上場効果-知名度並びに信用力の向上

## 1 新規ビジネスマッチング契約先の増加

当第3四半期において、税理士・会計事務所1事務所、地方銀行5行、証券会社1社と新たなビジネスマッチング契約締結致しました。

この結果、累計提携先は税理士・会計事務所99事務所、地方銀行34行、証券会社8社と合計141件となりました。  
(→P16「販売ネットワーク(ビジネスマッチング契約先)の拡大」を参照。



## 2 資金調達力の向上

翌四半期以降に販売を予定する案件組成のため、銀行から短期借入等を実行し、当第3四半期末の借入残高は22,972百万円となりました。

また、資金調達枠は、前年同期末の55.3億円から165.1億円(コミットメントライン融資枠・当座貸越契約等)となり、資金調達力が大幅に向上いたしました。



## 5 人材面

事業拡大・営業力強化のため、人員を増員し、常勤役職員は単体で36名(前年同期比:10名増)、連結で60名(前年同期比:13名増)となりました。

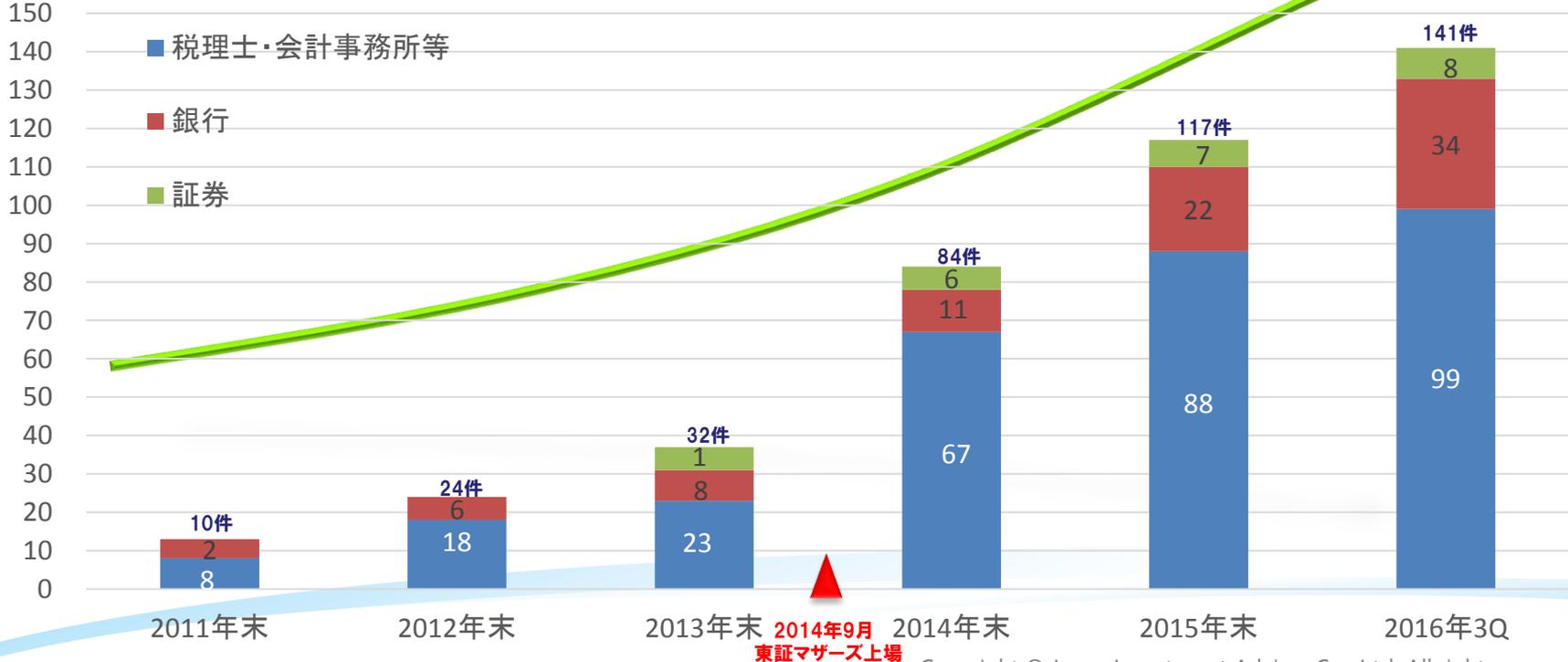
今後も、更なる業容拡大に向けて、優秀な人材を積極的に採用していきたいと考えております。



## 販売ネットワーク（ビジネスマッチング契約先）の拡大

（累計ベース）

（単位：件）



# 新株式の発行及び株式売出しの実施概要

発行会社	株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー
発行形態及び調達金額概算	新株発行による公募増資 調達金額概算:33億2千万円
調達資金の用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オペレーティング・リース事業</li> <li>・環境エネルギー事業において計画しているインフラファンド組成のための一時的な立替取得資金</li> <li>・パーツアウト・コンバージョン事業において退役航空機の購入資金等の運転資金に充当</li> </ul>
公募売出し及び第三者割当	<p>新株式発行:950,000株          第三者割当先:大和証券 105,100株          計:1,055,100株</p>
発行価格及び売出価格	1株につき、3,355円
増加した資本金の額	1,668,519,314円(平成28年5月25日現在)
資本金	2,046,492,214円(平成28年5月25日現在)
発行済株式総数	12,191,600株(平成28年5月25日現在)
目的	<p>当社グループの収益計上の柱と位置づけているオペレーティング・リース事業及び環境エネルギー事業におけるインフラファンド組成のための一時的な立替取得資金並びにパーツアウト・コンバージョン事業における退役航空機の購入資金等の運転資金に充当。</p> <p>また、当社グループは、本資金調達の実施により、財務基盤を強固とし、自己資本比率を向上させ、資金調達能力を拡大することで増加する資金需要に対応し、更なる業績の拡大を図り、将来、株式会社東京証券取引所市場第一部への上場を目指す。</p>

2016年12月期第3四半期

 決算報告

---

# 2016年12月期第3四半期 連結貸借対照表 概要

(単位：百万円)

	2015年12月期	2016年12月期 第3四半期	増減額		2015年12月期	2016年12月期 第3四半期	増減額
<b>流動資産</b>	8,651	28,984	20,333	<b>流動負債</b>	7,121	23,815	16,693
現預金	2,379	3,621	1,242	買掛金	7	7	0
売掛金	694	1,027	332	業務未払金	7	64	57
商品	827	1,661 ※①	833	短期借入金等	6,339	22,235 ※⑤	15,896
商品出資金	2,769	15,453 ※②	12,684	前受収益	85	1,314	1,229
未成業務支出金	5	592	587	未払法人税等	495	59	△435
前渡金	794	3,005 ※③	2,211	その他	187	132	△54
立替金	625	3,054 ※④	2,428	<b>固定負債</b>	350	736	386
その他	555	568	13	<b>負債合計</b>	7,471	24,551	17,079
<b>固定資産</b>	744	955	211	<b>株主資本</b>	1,932	5,390	3,458
有形固定資産	63	68	5	資本金	377	2,051	1,673
無形固定資産	8	62	54	資本剰余金	319	1,993	1,673
投資その他	672	824	151	利益剰余金	1,433	1,545	111
<b>繰延資産</b>	8	9	1	自己株式	△199	△199	△0
<b>資産合計</b>	9,404	29,950	20,546	<b>純資産合計</b>	1,932	5,398	3,466
				<b>負債・純資産合計</b>	9,404	29,950	20,546

- ① パーツアウト事業における商品在庫です。  
 ② オペレーティング・リース事業における航空機案件12件と船舶案件1件の匿名組合出資金を一時的に引き受けております。(在庫)  
 ③ コンバージョン事業のための前渡金です。  
 ④ 太陽光案件組成のための立替金が主な目的です。  
 ⑤ 匿名組合出資金を一時的に引き受けるためのもので商品出資金の増加に応じて短期借入金は増加し、商品出資金の販売が進むと短期借入金を適宜 返済していくため減少いたします。当第3四半期においては、積極的に案件組成を行ったため、商品出資金が増加。これに伴い短期借入金も、増加いたしました。

# 2016年12月期第3四半期 連結損益計算書 概要

(単位:百万円)

	2015年 第3四半期	2016年 第3四半期	増減	増減率
売上高	1,825	3,080	1,254	68.7%
売上原価	565	1,553	987	174.6%
売上総利益	1,259	1,526	266	21.1%
販売費及び一般管理費	453	914	460	101.4%
営業利益	805	611	△193	△24.1%
営業外収益	125	71	△53	△42.9%
営業外費用	216	336	120	55.5%
経常利益	714	347	△367	△51.4%
四半期純利益	449	159	△289	△64.5%

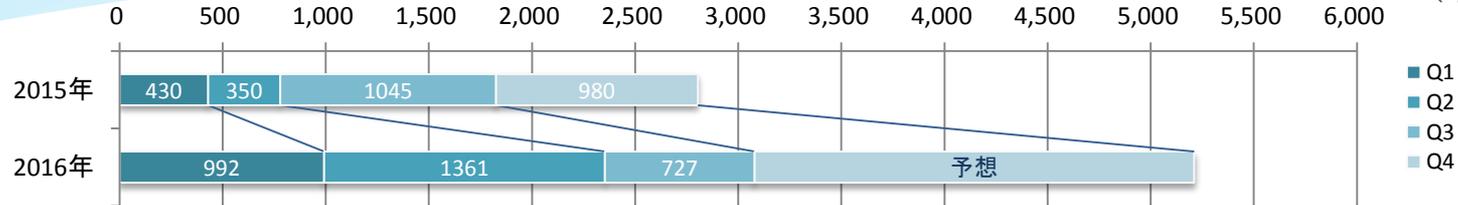
- ① 当第3四半期累計において、航空機案件4件、船舶案件2件、コンテナ案件3件、太陽光案件5件を完売しました。
- ② 顧客紹介手数料及び案件組成に係る弁護士費用及び案件組成に係る金融費用については、売上との直接的な対応関係を明確にするために、売上原価に計上しております。

## 2016年12月期 連結損益計算書 概要

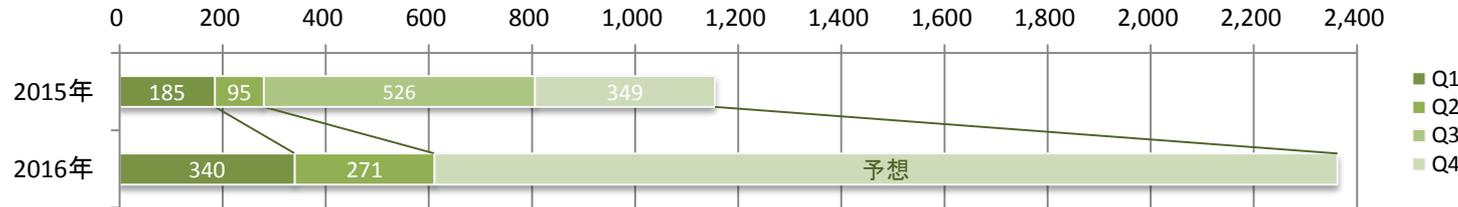
前年同期比較(2015年、2016年)

(単位：百万円)

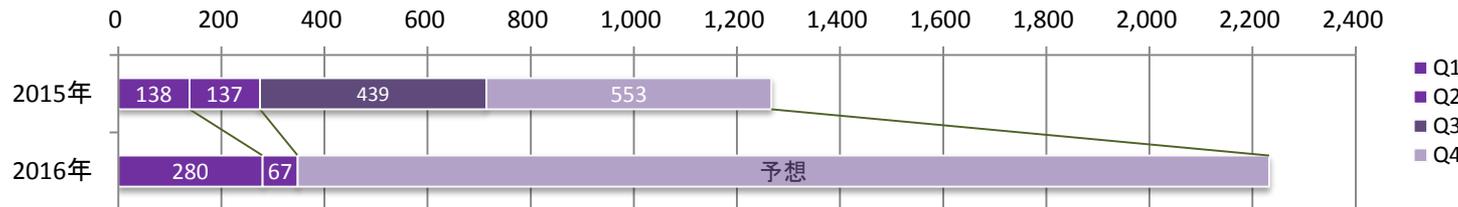
売上高



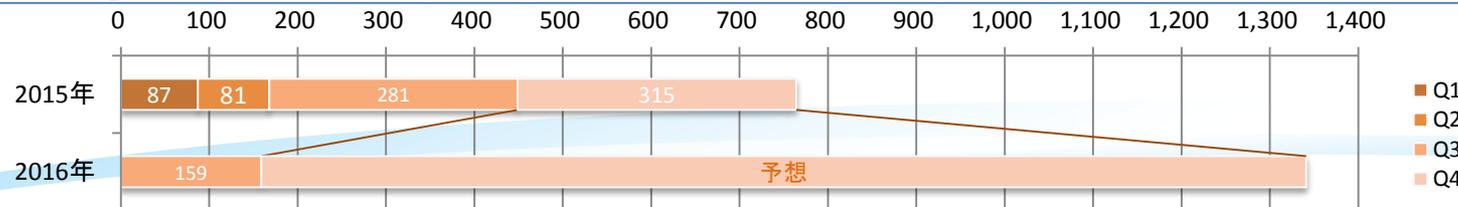
営業利益



経常利益



当期純利益



2016年12月期

# 通期業績予想

---

## 2016年12月期通期の業績予想に変更はありません

当社グループの主力事業であるオペレーティング・リース事業においては、レッシーからの引き合いが途絶えることなく、潜在的な案件数は豊富な状態が続いております。また、環境エネルギー事業においても、潜在的な案件数は豊富にあり、案件の内容を慎重に精査し、成約に結びつけております。

当第3四半期累計期間におきましては、当該事業の案件組成が順調に進み、仕掛案件が多数発生しており、顧客(投資家)からの強い需要を背景に、特に第4四半期に当該事業の売上及び利益が伸びる見通しがあります。

当期の業績につきましては、当第3四半期累計において、当社グループの売上計上基準が、完売基準を採用していることから、案件が完売した時点で利益を計上しておりますため、去年同期比進捗率が遅れておりますが、当第4四半期に、オペレーティング・リース事業において7件(出資金総額概算:107億円)、環境エネルギー事業において3件(出資金総額概算:16億円)の完売、また4機のリマーケティング案件を抱えているとともに、コンバージョン事業において4機の引渡しも予定しており、これらの遂行により予算達成は十分可能であると考えております。

このため、通期業績予想につきましては、期初(平成28年2月12日)に公表しましたとおり変更はございません。

また、今後も、每期50%以上の増益率達成を目指し、できるだけ早い段階で東証一部市場への指定替え実現に向けて、鋭意準備を進めてまいります。

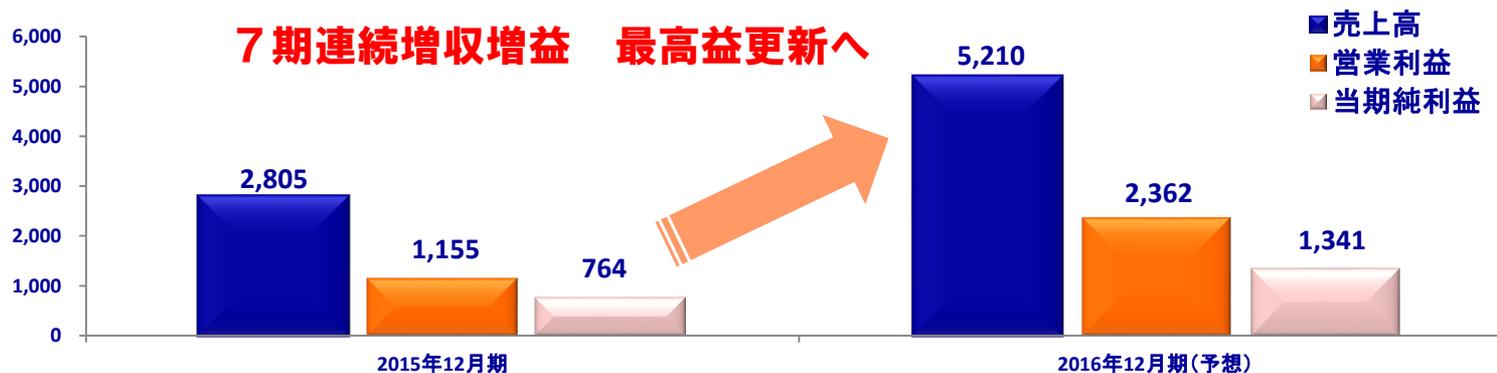
# 2016年12月期 業績予想

JIA

株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー

更なる業容拡大を推進し、連続増収増益、最高益更新を目指します

(百万円)	2015年12月期 (実績)	2016年12月期 (予想)	通期予想 増減額	通期業績予想 増減率
売上高	2,805	5,210	2,405	85.7%
営業利益	1,155	2,362	1,207	104.4%
経常利益	1,267	2,232	965	76.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	764	1,341	577	75.5%
1株当たり当期純利益	68円96銭	114円37銭	44円41銭	65.8%



# ■ 株主還元

---

## 東証一部市場への上場を目標とし、連結配当性向20%以上を目指す

### 株主還元の基本方針 (配当政策)

当社の利益配分方針は、将来の事業機会を確実に捉えるために、経営基盤の強化を図るべく、十分な内部留保を維持することに留意しつつ、株主の皆様へ適切な利益を還元することが配当政策上、重要であると考えております。

今期中間配当金及び期末配当金につきまして未定としておりましたが、前期(2015年12月期)において6期連続で最高益更新を果たし、当期の業績も好調に推移していること等を勘案し、下記のとおり、配当を実施する予定といたしました。

当社は、今後、東証第一部市場への上場を目標とし、**連結配当性向は、概ね20%以上を目指してまいります。**

	中 間	期 末	合 計
今期配当予想	4円	6円	10円

\*中間配当の実施は決議済み。効力発生日は、2016年9月1日。  
今後の業績の推移を勘案し、更に配当予想の修正が必要な場合には速やかに開示いたします。

## 株主優待の内容

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの株主様に中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入。

(1)対象株主	12月末日現在の当社株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主様を対象
(2)割当基準日	毎年12月末日(年1回)
(3)優待品	クオカード及び日本証券新聞デジタル版購読券
(4)株主優待の内容	<p>進呈基準 (クオカード+日本証券新聞デジタル版購読券)</p> <p>継続保有期間1年未満</p> <p>100株以上1,000株未満 1,000円+日本証券新聞デジタル版1ヶ月購読券 3,000円</p> <p>1,000株以上 3,000円+日本証券新聞デジタル版3ヶ月購読券 9,000円</p> <p>継続保有期間1年以上</p> <p>100株以上1,000株未満 3,000円+日本証券新聞デジタル版3ヶ月購読券 9,000円</p> <p>1,000株以上 5,000円+日本証券新聞デジタル版6ヶ月購読券18,000円</p>
継続保有期間の定義	継続保有期間とは、当社株式を保有していただいた継続期間のことで、継続保有期間1年以上とは、2015年12月末日、2016年6月末日及び2016年12月末日の当社株主名簿に連続して記載された時点からといたします。



# ■ 当社の成長戦略

---

# 当社の成長戦略について

## 1 主力事業であるオペレーティング・リース事業の更なる強化

- 航空機、海上輸送用コンテナ及び船舶を対象としたオペレーティング・リースにおいて、競争力の高い商品を組成し、更なる規模の拡大を図る。
- CAIJの全株式取得(子会社化)によるCAIJの事業領域の拡大や、昨年より開始した船舶を対象としたオペレーティング・リース事業を通じ、当社の主力事業であるオペレーティング・リース事業の更なる拡大・強化を図る。

## 2 収益の主力3本柱の確立とITビジネスへの注力

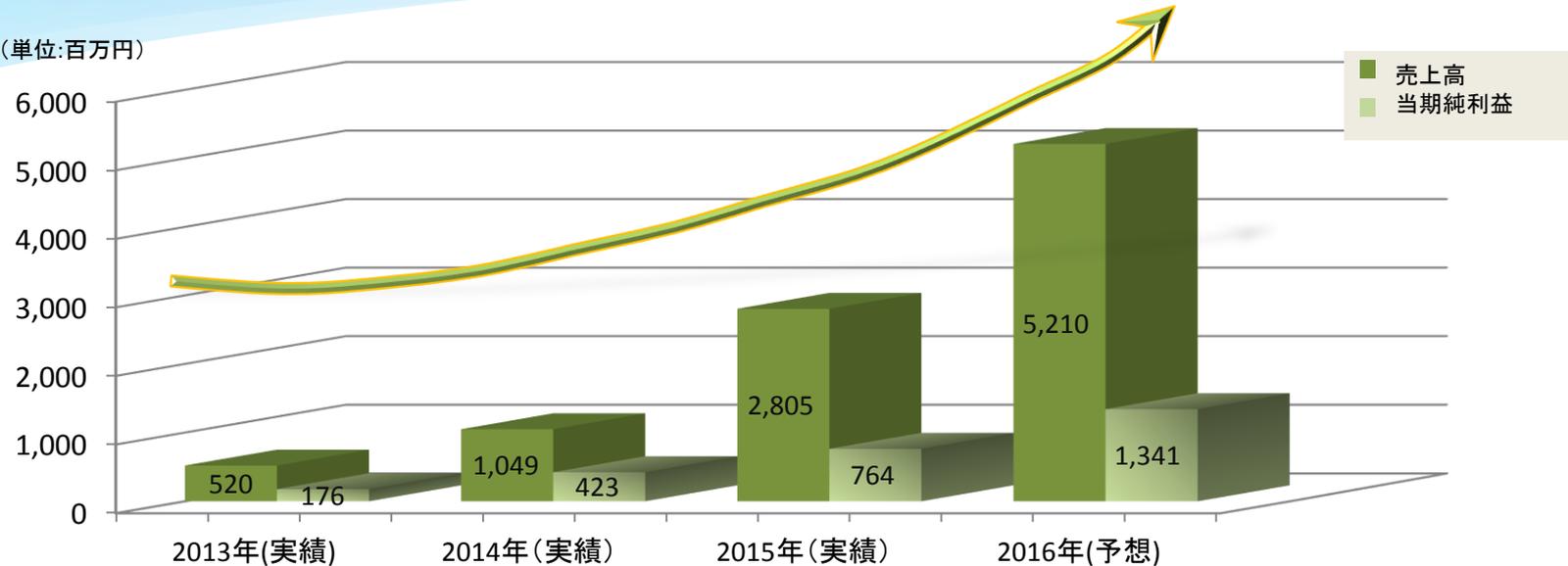
- オペレーティング・リースに加えて、現在注目度の高い太陽光発電事業を中心とした環境エネルギー事業を強化。
- オペレーティング・リース事業、環境エネルギー事業と並ぶ3本目の収益の柱として、パーツアウト・コンバージョン事業による
- 更なる収益機会の拡大を目指す。
- 今後は、金融ソリューション事業とのシナジーが見込まれるIT・サービス分野、特にフィンテックを駆使した新たな金融サービスの拡大を目指す。

## 3 取扱商品の拡大による最適な金融ソリューションの提供

- 当社主力商品を必要とする優良中小、中堅企業の顧客基盤を十分に拡充しつつ、M&Aアドバイザリー事業、プライベート・エクイティ事業、不動産投資事業、ウェルス・マネジメント事業等、他の金融ソリューション提供へ繋げていく。
- 全国の金融機関や会計事務所、コンサルティング会社等との綿密な連携販売ネットワークを拡充し、全国に広がる幅広い投資家層ニーズにマッチングした最適な金融商品を提供。

## 当社の成長戦略について

(単位:百万円)



当社主力商品を必要とする優良中小、中堅企業の顧客基盤を十分に拡充しつつ、M&Aアドバイザリー事業、プライベート・エクイティ投資事業、不動産投資事業、事業承継アドバイザリー事業、メディア関連・IR支援事業、人材ビジネス等、顧客ニーズにマッチングした幅広い金融ソリューションの提供へ繋げる

# 企業価値の増大に向けた成長戦略の推進

オペレーティング・リース事業、環境エネルギーファンド事業、パーツアウト・コンバージョン事業への注力

## 組成面

旺盛な投資家ニーズに対応した案件供給  
新規借入人の開拓  
安定かつ機動的な資金調達力の確保  
運用型商品の開発

## 販売面

全国の金融機関や会計事務所並びに  
コンサルティング会社等との綿密な連携  
販売ネットワークの拡充

全国に広がる幅広い投資家層ニーズにマッチングした最適な金融商品の提供

→利益ベースで毎期50%以上の増益を目指す

## 取扱商品の拡大

オペレー  
ティング・  
リース事業

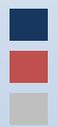
環境エネルギー  
ファンド事業

M&A  
アドバイザー  
事業

プライベート  
エクイティ  
投資事業

メディア関連・  
IR支援事業

パーツアウト・  
コンバージョン  
事業



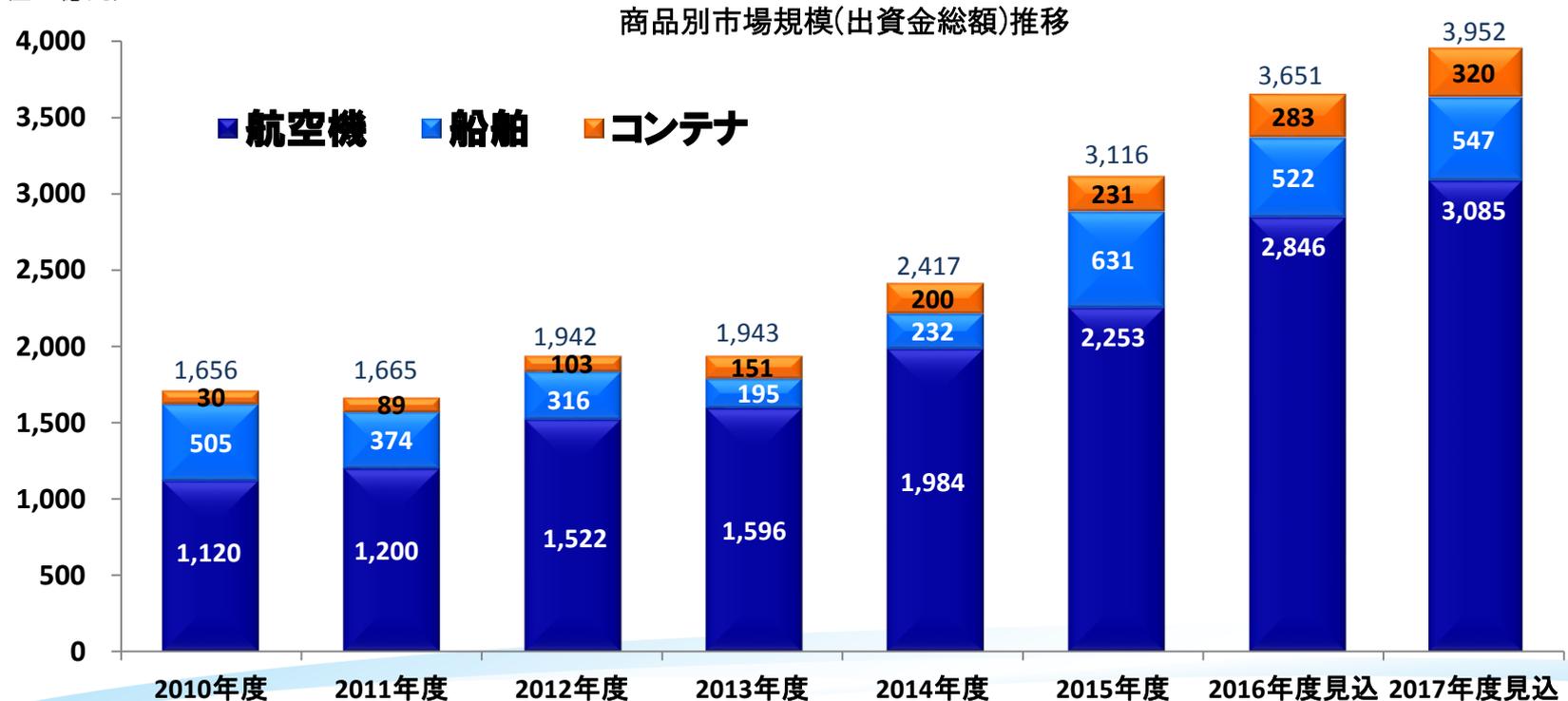
# 参考情報

---

# オペレーティング・リース市場規模の推移

マーケット状況(矢野経済研究所レポート[2016.4.5発行]より当社にて作成)

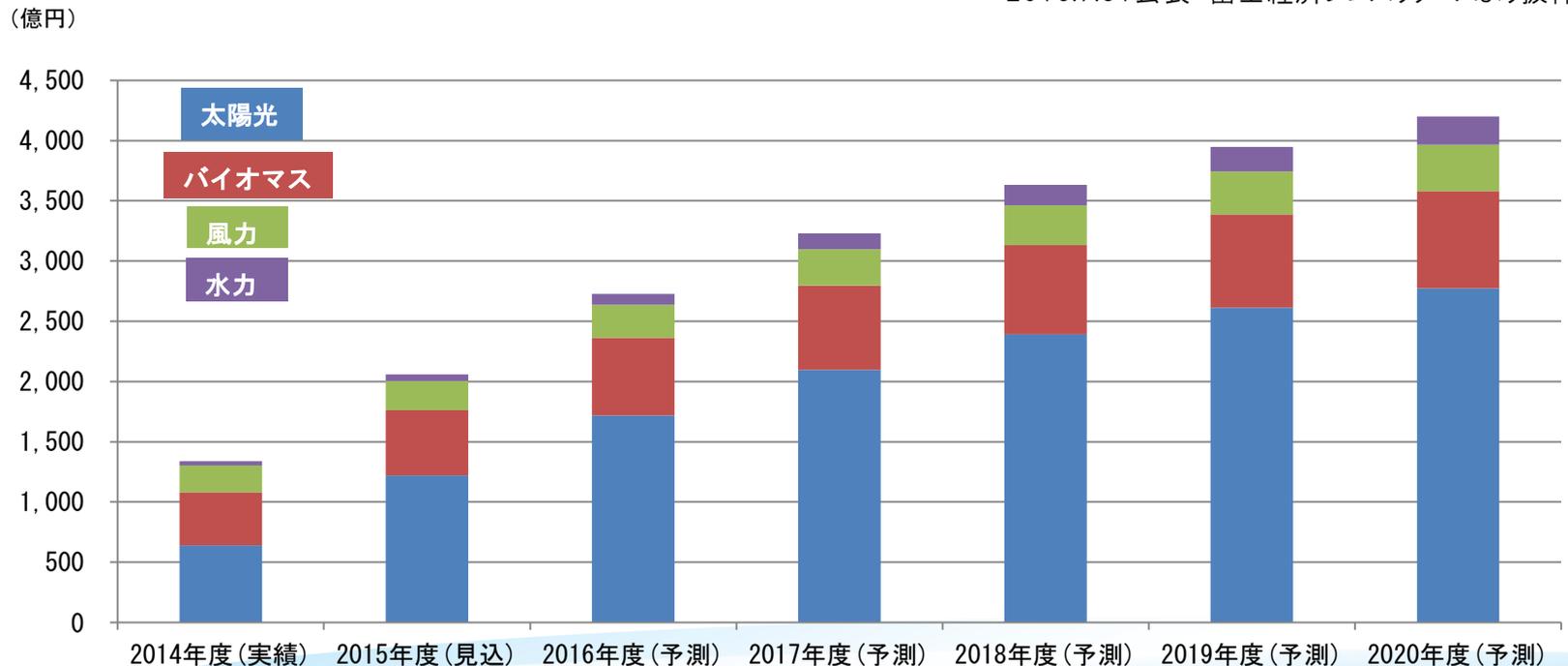
(単位：億円)



# 再生可能エネルギー関連サービスの国内市場規模

太陽光、バイオマス、風力、水力発電関連サービスの4分野で、  
2020年度には、4,199億円規模へと拡大予測

2015.7.31公表 富士経済プレスリリースより抜粋



## 本資料における注意事項等(Disclaimer)

- 本資料に掲載しているIR情報は、株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー（以下、当社）の財務情報、経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。  
また、本資料の情報の掲載は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。
- 本資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わずに一切責任を負うものではありません。
- 本資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

【IRに関するお問い合わせ先】 株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー 広報・IR部  
TEL: 03-6804-6805  
URL: <http://www.jia-ltd.com/>